

# 解説

## 附属小学校 和氣拓巳 教諭 主体的な学びで育成する生涯スポーツへの基礎

コンピテンシー育成開発研究所 特任准教授 下島泰子

本授業は「主体的に学習に取り組む態度」を含めた「学びに向かう力」の実践である。教師に決められた授業内容ではなく、生徒自らが学習計画と振り返りを行う。「個」と「協働」での取り組みがある。

「個」の「走るプロジェクト」では走ることにに関するウェビング（探究活動で使う、思考を可視化する活動）を行い、個々のテーマを決め（学びの見通し）、実際に走り（粘り強い取り組み）、振り返る（自らの学習を振り返って次につなげる）というAARサイクルによる主体的な学びである。自分の走る力や体力の伸びに関して形成的な自己評価を生徒が行い、自らのテーマの振り返りと改善を行っている。

「協働」の取り組みである「キックホッケー」という独自のゲームではグループづくりから主体的な学びを進めている。これらの取り組みは学習指導要領の「生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力」の育成に資する取り組みである。